

## 道立の施設指定管理者「選定過程開示を」 落選のNPO、道提訴へ

道立市民活動促進センター(札幌市中央区)の指定管理者選定をめぐり、評価点が高かったにもかかわらず落選した特定非営利活動法人(NPO法人)「北海道NPOサポートセンター」(札幌)は四日、道を相手に、選定過程を記録した議事録の全面開示を求める行政訴訟を起こす方針を固めた。

施設選定の公募には、サポートセンターと財団法人北海道地域活動振興協会(札幌)が申請。道が委嘱した有識者などによる選定委員の二度の採点でともにサポートセンターが上回ったが、選定委員会で、最終的に多数決で振興協会に決まった。同協会は今月から、促進センターの管理、運営に当たっている。

サポートセンターは二月上旬、道に対し、選定委員会の議事録の開示請求を行ったが、「各選定委員の個別評価など肝心な部分が黒塗りで、落選に至った経緯が全く理解できなかった」(小林董信事務局長)という。

「問題の決着を長引かせたくない」(小林事務局長)と文書の全面開示を求めて行政訴訟に踏み切る。五日の理事会で正式承認されれば提訴する。